



援農企画のご案内

兵庫県淡路市

**新企画** 第1回 淡路島カーネーション摘蕾隊 3日間

～新春の淡路島から花の香りをのせて～



淡路市東浦地区のカーネーション

**淡路島カーネーションの現状**

日本におけるカーネーションの栽培の歴史は100年になり、「母の日」に代表される人気の花です。

淡路島は、西日本を代表するカーネーションの産地ですが、ここ数年は需要の低迷や、輸入品に押され苦戦が続いています。

高い技術を維持し、高品質を保つのもたいへんで、高齢化のなか

栽培面積の減少なども課題で、景観の保全にかかわる問題として援農隊としての支援を企画しました。

**最盛期前の準備を支援します！**

11月ぐらいから蕾をつけたカーネーションは、年を越し春の最盛期に向け、よい芽を残して、蕾を摘んでいく、わき芽取り作業が続きます。

最盛期を前にした摘蕾・採花・出荷という一連の農作業をお手伝いする新企画として「摘蕾隊」をスタートします。

この機会に国産の花の現状や、優れた伝統技術に触れ、日本における農業のすばらしさやたいせつさを実感していただき、ぜひ猫の手援農隊の活動における喜びを、味わっていただくことを願っております。



※「第1回 淡路島カーネーション摘蕾隊」の募集詳細は、広報誌「ふれあい」本号同封チラシをご参照ください。



収穫期を迎えた様子



援農企画のご案内

茨城県常陸大宮市

第2回 しいたけ駒打ち援農隊 2日間

～今年もしいたけ農家のお手伝い～



植菌した原木(ほだ木)は、ほだ場に置かれ、収穫は通常翌年の秋からになります



ドリルで穴を開け



駒(菌)を埋め



ハンマーで駒を打ち込む

常陸大宮市は豊かな自然を残す茨城県北部にあり、アユが生息する那珂川や久慈川などの清流が流れ、市内のおよそ6割は山林となっています。昔から農林業が盛んなところで、なかでも恵まれた山里の環境にはぐくまれたしいたけは品質的にも評価が高く、「全農乾椎茸品評会」個人の部で幾度も農林水産大臣賞を受賞しています。

しかし、当地でも農家の高齢化が進み農林業の後継者も減少傾向で、地域の歴史・農村文化の伝承も難しくなっています。

そこで、昨年に引き続きしいたけ農家のみな様をはじめ地元の方々との協働で、しいたけの駒打ち援農を実施することとなりました。

しいたけの駒打ちは、切り出したクヌギなどの原木にドリルで穴を開け、そこにしいたけの菌(駒)を打ち込む作業ですが、春前がその作業時期となります。援農隊の

みなさん！ ご協力をお待ちしております。



宿泊予定の「やすらぎの里」ケビン(男女別の相部屋となります)



※「第2回 しいたけ駒打ち援農隊」の募集詳細は、広報誌「ふれあい」本号同封チラシをご参照ください。